

# 瑠璃



彼杵中学校  
校長 川内康範

## 体育大会の練習が始まっています。



今週に入って、毎日午後から2時間は練習をしています。入場行進、ラジオ体操、選手宣誓の仕方、ダンス、各競技の入退場の確認などなど、やるべきことはたくさんあります。また、放課後は応援練習も行っています。12日からは学級ごとの朝の練習も始まりました。グラウンドには活気があふれています。

ご存知のように、町議会で来年度より中学校が統合することが決定しました。町長さんは「子どもたちの未来を考え、生き抜く力を養うため、統合して新しい中学校にすることが望ましい。」(長崎新聞)と説明されたそうです。

来年度の開校に向けてこれからいろいろな準備が進められていくと思います。それはそれ、です。30年度の彼杵中学校の教育活動はしっかり行わなければなりません。

ん。目の前の授業、体育大会や合唱コンクールなどの行事に真正面から向き合っていかなければならないと思います。浮き足立つことなく、落ち着いて取り組ませていきます。保護者の皆様におかれましても、ご理解のほどよろしくお願ひします。

## 「大人へのインタビュー」への「協力ありがとう」がありました。

夏休みの課題として出していた「大人へのインタビュー」のレポートを読ませてもらいました。一人一人が自分の将来について考えるきっかけになったかなと感じました。一部を紹介します。

### 【内容】より

・いろいろな家を作れることがやりがい。楽しさは形を作り上げていくこと。きついことは朝が早く、夜が遅い。お客さんにとって一番喜んでもらえるような家を作りたいと思って仕事をしている。

・どんな仕事をするにしても、家庭と仕事とのバランスが大事だということが、子どもたちを育てるようになって分かりました。

・尊敬する人は母親。訳は愛情いっぱい育ててもらったから。大切にしていることは、思いやりの心と自分とかわかるすべての人。

・大切にしていること(人の悪口を言わないこと。前向きに考えること。笑顔でいること。大切にしていること)↓誠実に仕事をする。あ

### 【インタビューをして考えたこと】より

・自分は将来助産師になりたいと思っているので、母のように妊婦さんに寄り添うことのできる助産師になりたい。

・お父さんは「人の笑顔を守りたい」と言っていたけど、自分は大人になって人を笑顔にしたい。

・大人たちはいろいろな難関を乗り越えているんだなと思って、がんばろうと思いました。

・お客さんのことが一番大事なんだなと思った。お父さんとお母さんの仕事は大変だということ。

・患者さんのことをよく考えて仕事をしているところがすごいと思った。40歳近くになった今でも私と同じように将来の夢を持っていたことを初めて知り、驚いた。

・まだ中学生だし、将来はまだまだだと思っていたけど、あと2年で高校生だし、自分の将来についても少しずつ考えなくちゃいけないと思いました。

・少しでも目標がある。私もやりがいを感ず仕事したいと思う。それには勉強することが大切だから頑張りたいと思った。

(裏面に続きます。)

地震のニュースにはびっくりしました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りします

